川崎市立多摩病院　聖マリアンナ医科大学 指定管理者
36号 夏
たま病院ニュースレター
TAMA Hospital News Letter 2022

知っ得 納っ得

ラムゼイ・ハント症候群について

耳鼻咽喉科　部長　晝間　清

【ラムゼイ・ハント症候群とは】

今年の6月に世界的に有名なミュージシャンのジャスティン・ビーバーが公表したことでも知られる、水痘帯状疱疹ウイルスによる顔面神経麻痺のことで、耳介の発疹に加え、難聴や耳閉感、耳なりやめまいなどの症状をしばしば伴います。末梢性顔面神経麻痺のみの場合はベル麻痺とよばれ、単純ヘルペスウイルスが原因とされています。ともに顔面神経の膝神経節に潜伏感染しており、疲労やストレスなどでウイルスが再活性化することでおこります。

【病態】

これらの顔面神経麻痺の病態は、ウイルス性神経炎によっておこる脱髄と炎症に伴う神経浮腫で、腫脹した顔面神経が側頭骨内の顔面神経管内で圧迫、絞扼されることで虚血が生じ、これらの悪循環が神経変性を悪化させます。さらにラムゼイ・ハントの場合、顔面神経内の中間神経が、耳介の皮膚や舌、軟口蓋に分枝しているため、それら領域でヘルペス性炎症を生じさせたり、内耳道内で前庭神経との交通枝を介して、難聴やめまいなどの内耳症状を引き起こしたりします。

【治療】

顔面神経管内における神経浮腫を改善させるために、抗浮腫、抗炎症作用をもつステロイドホルモンの投与を行います。またウイルスに対しては帯状疱疹ウイルス用量の抗ウイルス薬の投与を行います。前出のジャスティン・ビーバーが病状を公開したことで、疾患への注目度があがり、一般人への啓蒙活動としては、全世界的で十分すぎるといえます。ただし、日本では耳鼻咽喉科医がその治療を担っていることを強調しておきたいと思います。

部門紹介

耳鼻咽喉科

当科では、中耳炎、難聴、耳鳴り、顔面神経麻痺、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、扁桃炎などの一般的な耳鼻咽喉科領域の疾患から、めまいや頭頸部腫瘍、好酸球性副鼻腔炎などを始めとする専門領域に至るまで、幅広い分野の耳鼻咽喉科疾患に対応しております。口蓋扁桃摘出をはじめとする咽喉頭手術、内視鏡を使用した鼻内手術と外切開による鼻外手術、頸瘻や唾液腺・甲状腺腫瘍摘出術を中心に週2回、外科的手術を行っております。手術適応症例がありましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

多摩病院に「特定看護師」が3名、誕生しました。

医療の高度化・複雑化が進む中で、高度な知識と技術を持った看護師が求められるようになっています。看護師の認定資格には、認定看護師、専門看護師、特定看護師、診療看護師がありますが、特定看護師とは、2015年に始まった厚生労働省の施策である「特定行為に係る看護師の研修制度」を受講した看護師の名称です。

特定看護師は、専門的な知識と技術が必要とされる38の医行為（診療の補助）を、医師の指示を受けて行うことができます。また、医学的視点から治療方針を深く理解し、円滑な診療体制のサポートを行うことと、他職種との連携強化の役割を担うことが期待されています。現在は、総合診療内科、消化器内科、循環器内科のチームに所属し、安全で適切な特定行為をおこなうために、実践的な医行為に必要な知識と技術を学びながら、看護業務の拡大に努めています。

病院での急性期医療から地域での在宅医療を支える「特定看護師」として活動できるように努力していきます。

たま病院ニュースレター
No.36　令和4年度　夏号
川崎市立多摩病院　聖マリアンナ医科大学 指定管理者
川崎市立多摩病院　図書・広報委員会　〒214-8525　川崎市多摩区宿河原1-30-37　TEL：044-933-8111（代表）